

保育・教育施設等 施設長 各位

こども青少年局保育・教育運営課長
熱中症事故の防止について

常日頃より、横浜市の保育・教育行政にご協力いただきありがとうございます。標記の件について、文部科学省から通知がありました。以下の点など、熱中症事故防止に万全の対策を講ずるようお願いいたします。なお、独立行政法人日本スポーツ振興センター及び環境省の HP に参考資料が掲載されておりますのでご利用ください。

- 気象庁が発表する情報や環境省熱中症予防情報サイト上の暑さ指数等の情報に十分留意し、気温・湿度などの環境条件に配慮すること。その際、活動等の中止や、延期、見直し等柔軟に対応すること。
- 活動前、活動中、終了後等にこまめに水分や塩分を補給し、休憩を取るとともに、児童の健康観察など健康管理を徹底すること。
- 熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期に水分・塩分補給、体温の冷却、病院への搬送等、適切な応急手当等を実施すること。
- 熱中症事故は、屋内での活動中においても発生しており、また、体がまだ暑さに慣れていない時期、それほど高くない気温（25～30℃）でも湿度等その他の条件により発生していることに留意すること。

※なお、子どもは大人より熱しやすく冷めやすい特性を持っていること、屋外では地面に近いほど気温が高いため身長の高い子どもは大人よりも高温の環境にさらされること、子どもは体調が変化しやすく、体の不調等を訴えることが難しい場合があることなどを踏まえ、特段のご留意をお願いいたします。

<参考資料>

○(別紙) 横浜市の保育・教育施設等における「暑さ対策」ガイドライン

- 独立行政法人日本スポーツ振興センター
 - ・「熱中症を予防しよう—知って防ごう熱中症—」(パンフレット・DVD)
 - ・「学校屋外プールにおける熱中症対策」(パンフレット)
 - ・「熱中症対応フロー」(ポスター)

公表URL→

https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/tabid/1905/Default.aspx

・「教材カード」※毎年5月と7月のテーマは熱中症

公表URL→ [「https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/card/tabid/519/Default.aspx](https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/card/tabid/519/Default.aspx)

○ 環境省

- ・熱中症予防情報サイト <http://www.wbgt.env.go.jp/>
(印刷して利用できる普及啓発資料の他、熱中症対策の情報が充実しています。)
- ・「熱中症環境保健マニュアル2018」(平成30年3月改訂 環境省)
http://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.php